

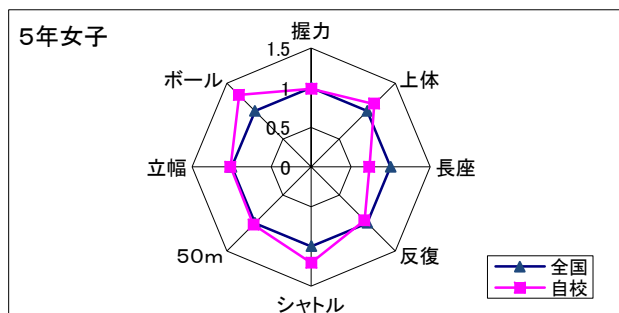
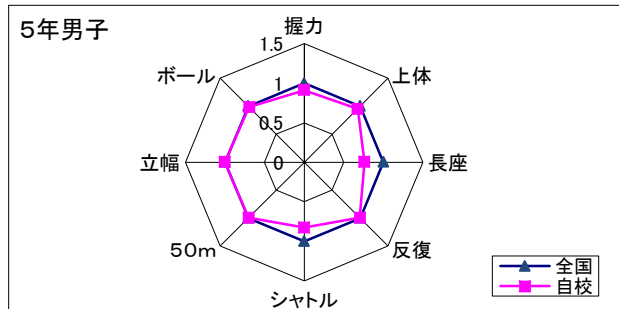
学校名

小27 音戸小学校

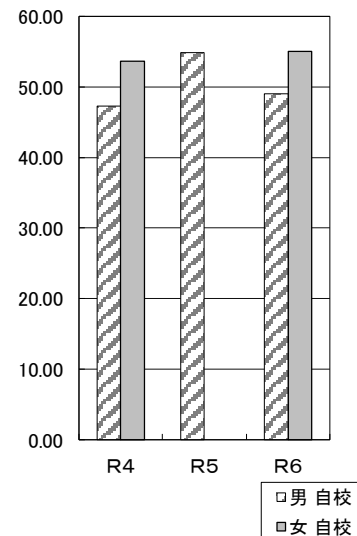
1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.02	19.19	33.79	40.67	46.90	9.50	150.46	20.74	52.29	52.60	52.54
		自校	14.56	18.31	25.75	40.38	38.69	9.55	150.81	20.38	47.25	54.86	49.00
		比較	△	△	△	△	△	△	○	△	△	○	△
	女	全国	15.78	18.16	38.21	38.71	36.60	9.76	143.18	13.15	54.32	54.29	53.93
		自校	15.57	20.43	28.00	36.71	44.14	9.51	145.29	16.86	53.67		55.00
		比較	△	○	△	△	○	○	○	○	△		○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



体力合計点の推移



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	50m走	長座体前屈
〈成果と課題〉 ・全国平均と比較すると男子がわずかに下回り、女子は上回った。 ・自校の前年度の結果と比べても記録が向上している。1年間を通じて行っている業間マラソンやくれチャレンジマッチ・スタジアムの取り組みの成果が出てきているようである。	〈成果と課題〉 ・全国平均と比較すると男子がわずかに下回り、女子は上回った。 ・記録は向上しつつあるが、外遊びの種類に偏りがあり、鬼遊びなどの走に関する遊びを行う機会が少ない。体育の授業では、以前の自分の記録を意識させたり、走に関する準備運動の充実などの工夫が必要である。	〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均を大きく下回り、全国平均を上回った児童は2名だった。柔軟性を高めるための運動を行う機会が不足している。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校	93.8		自校	93.8		自校	100.0
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	100.0		自校	100.0		自校	100.0
〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均を超えている。 ・どの学年も休憩時間に外遊びする児童が大半であり、意欲的に体を動かす児童が多い。			〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均を超えている。 ・「げんきっず週間」や「サオンドノート」に朝食に関するチェック項目があり、学校全体で意識を高める取り組みをしている。			〈成果と課題〉 ・男女ともに1週間の総運動量が1時間を超える児童の割合が100%だった。 ・地域のスポーツ少年団などに所属したり、放課後に外遊びしたりする児童が多い。		